

2020年2月15日

関係各位

八王子市少年軟式野球連盟  
審判部

### 塁審講習会時における説明の訂正と補足

平素、審判力向上に際しご協力頂き感謝致します。

さて、2月9日（日）に開催致しました塁審講習会において、下記2点の内容につきまして誤解を招きかねない説明がございました。参加されました方々にお詫び申し上げるとともに、ここに訂正と補足をさせていただきます。

敬具

#### 記

#### 1. ゴロの打球においてセーフのタイミングでの打者走者が一塁空過の場合

審判はジャッジしない。

その後、打者走者が一塁ベースに戻るより先に一塁ベースを踏むか打者走者にタッグを行い審判にアピールし、空過が認められたら場合打者走者はアウトとなる。

#### 2. ボーク時にプレイを止める場合とタイミング

・塁審はプレイを止める場面か、止めない場面かの判断をする事。

・ピッチャーが投球モーション（自由な足が動き出す）に入る前のボークの場合（肩が動いた等）は、ボークのポイント（指さし）と発声（ザツボーク）をおこない、タイムをかけ走者を進塁させる。

・ピッチャーが投球モーション（自由な足が動き出す）に入ってしまう場合（セットの静止を行う場合等）は、ボークのポイント（指さし）と発声（ザツボーク）はするが、大きな声では行わずプレイの行方を伺う、その後のプレイで攻撃側が有利となった場合はそのままインプレイとする。

以上